

東京都支部アウトドアミーティング2019 「八王子市片倉つどの森公園」

当日は、ジャンク市を予定しています。不用品等の有効利用のため、手元で眠っている無線機・アンテナ・周辺機器等、もう壊れてしまったけれど、捨てるにはもったいない、そのような大切な思い出の機器を、もう一度活躍させませんか? 皆さんで野外でのアイボールを楽しみましょう

日時 10月14日(月/祝) 10:00～15:00 小雨決行
場所 片倉つどの森公園 東京都八王子市片倉町 3506番地

アクセス JR横浜線八王子みなみ野駅より徒歩15分(駐車場43台)

詳細は支部HP参照 <http://jarl-tokyo.org/wp2/>

ジャンク市出展希望者募集 先着順で定員になり次第締切(場所は会場管理者と調整中) ○会場内には車両を乗り入れての展示はできません、台車等を利用しての運搬 ※駐車場の台数が少ないため出展数に限りがあります。出展者は必ず申込をお願いします ○出展条件: 完動品・不完動品を明確にし、内容、金額がわかるようにすること。売残品は必ず持ち帰ること。売買の責任は自己責任とし、事務局では一切責任は負えません。危険物の持込はできません。不衛生な汚れ品はお断りします。出展費は無料 ○申込方法: ①コールサイン, ②氏名, ③連絡先(携帯等)電話番号, ④EメールまたはFAX番号, ⑤主なジャンク品内容を必ず記入 Eメール: jg1dkj@jarl.comまたは[fax] 050-1500-2612でJG1DKJ 澤田(携帯070-5575-3386)まで申込

運用局 JA1YRL等(予定) ※運用に際してはJARL会員証, 無線従事者免許証を必ず持参

参加費 無料

現地誘導 433.00MHz FM (09:00頃から)

JARL入会等受付 一般入会・青少年お試し入会(年齢確認書類のコピーを持参)・継続の受付

問合せ先 東京アマチュア無線ネットワーク事務局 武井幸雄 Eメール: jk1xrt@jarl.com

第24回東京CWコンテスト

日時 10月27日(日) 06:00～12:00 (JST)

参加資格 国内アマチュア局(移動運用する局も含む), SWL ※社団局・特別局・特別記念局(以下「社団局等」という)は除く

使用周波数帯 3.5/7/14/21/28/50/144/430MHz帯(JARLコンテスト使用周波数帯による) ※注A2A電波による電信はAM/SSB, F2A電波による電信はFMの使用周波数帯となるので本コンテストでは使用不可

参加部門・種目・コード

部門	種目	都内	都外
電信	オールバンド	1CA	2CA
	3.5MHzバンド	1C35	2C35
	7MHzバンド	1C7	2C7
	14MHzバンド	1C14	2C14
	21MHzバンド	1C21	2C21
	28MHzバンド	1C28	2C28
	50MHzバンド	1C50	2C50
	144MHzバンド	1C144	2C144
	430MHzバンド	1C430	2C430
	SWL	1CSWL	2CSWL

※注SWLの種目はオールバンド・シングルバンドの区別をしない

呼出「CQ TK TEST」

コンテストナンバー ○都内局: シグナルレポートRST + 自局の運用地点を示す市区町村ナンバー ○都外局: シグナルレポートRST + 自局の運用地点を示す道府県ナンバー (例) 相手局のRSTが599, 自局の運用場所が八王子市の場合のコンテストナンバーは599002 自局の運用場所が山梨県の場合は59917 ※都外局同士の交信も有効

禁止事項 ○クロスバンドによる交信 ○2波以上の電波(バンドの異なる場合も含む)の同時発射 ○コンテスト中の運用場所変更

得点・マルチプライヤー [アマチュア局] ○得点: 完全な交信で相手局が都内局: 2点, 都外局: 1点 ○マルチプライヤー: 各バンドで交信した異なる都内の市区町村と道府県数 [SWL] ○得点: 完全な交信をした都内局を受信: 2点, 都外局: 1点 ○マルチプライヤー: 各バンドで受信した異なる都内の市区町村と道府県数 (注1) 同一バンド内における重複交信は得点やマルチにはならない (注2) SWLは, (注1)の交信を受信と読みかえる (注3) アマチュア局は交信した

地方だより記事の 掲載について

- コンテスト規約の中で、電波法のように当然守らなければならない事柄のほか、掲載している規約の違反による失格事項などについては、省略しています。
- 各行事の開催報告などは編集の都合上、割愛させていただいている場合があります。あらかじめご了承ください。

JARL主催コンテスト使用周波数帯

●各地方コンテストの使用周波数帯の参考として、ご利用ください。

周波数帯	電信
3.5 MHz帯	3.510 ~ 3.530
7 MHz帯	7.010 ~ 7.040
14 MHz帯	14.050 ~ 14.080
21 MHz帯	21.050 ~ 21.080
28 MHz帯	28.050 ~ 28.080
50 MHz帯	50.250 ~ 50.300
144 MHz帯	144.050 ~ 144.090
430 MHz帯	430.050 ~ 430.090

周波数帯	電話
3.5 MHz帯	AM/SSB 3.535 ~ 3.570
7 MHz帯	AM/SSB 7.060 ~ 7.140
14 MHz帯	AM/SSB 14.250 ~ 14.300
21 MHz帯	AM/SSB 21.350 ~ 21.450
28 MHz帯	AM/SSB 28.600 ~ 28.850
50 MHz帯	FM 29.200 ~ 29.300
	AM/SSB 50.300 ~ 51.000
144 MHz帯	FM 51.000 ~ 52.000
	AM/SSB 144.250 ~ 144.500
430 MHz帯	FM 144.750 ~ 145.600
	AM/SSB 430.250 ~ 430.700
	FM 432.100 ~ 434.000

※1200 MHz帯以上の周波数帯については総務省告示の「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別」によるものとする。

局の中に社団局等が含まれる場合この交信を得点に計上してよい 注4) SWLは受信した個人局の交信相手に社団局等が含まれる場合この受信を得点に計上してよいが、逆に社団局等が他の局と交信しているのを受信して得点に計上することはできない

総得点 ○オールバンド：各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチプライヤーの和 ○シングルバンド：当該バンドで得た得点×当該バンドで得たマルチプライヤーの和

都内JARL登録クラブの得点・順位 都内JARL登録クラブの構成員(個人局)から申告された総得点をクラブごとに計上、順位を決定し3位まで表彰、サマリーシートとのクラブ対抗欄の登録クラブ番号を正確に記入、クラブ名等のみの場合は対象としない

賞 ○各部門、種目の書類提出局数に応じて賞状(入賞者はJARL会員) ○都内局は各種目の3位まで ○都外局は各エリアの参加数に応じ 10局以下1位まで、11局以上20局以下2位まで 21局以上3位まで ○JARL NEWS発表後に賞状を直接本人に郵送。各アワードも同様

書類提出 [紙ログ]○JARL制定のサマリーシート・ログシート、またはこれと同形式のもの(A4サイズ厳守) ○参加局は、全部門を通じて1つの種目のみにサマリーシート・ログシートを提出 ○サマリーシートにコンテスト名称、参加部門・種目コード、コールサインを記入 ○郵送提出先：〒166-0012 東京都杉並区和田1-44-8 可児長英 [電子ログ(Eメール)]○提出先 jarltokyo@gmail.com ○JARL形式に準じるが、原則としてJARLコンテスト電子ログ・サマリーシート作成ページのVERSION=R1.0とする。全文をメール本文に貼付けて送信(参考：VERSION=R1.0支部HP「コンテスト規約」「東京都支部主催コンテストログ・サマリー提出用ツール」の項) ○Eメールのsubject(主題：タイトル)は、提出局のコールサイン(例：JA1***/1 など) ○JARL形式に準じない申請書は不可とし、申請書を添付ファイルで提出したものはウイルス対策等に鑑み、書類不備扱い ○自動返信による書類受付の返信メールを送信した際、書類のフォーマット、記載内容に関しての不備の有無までは示していない。gmailは特定のプロバイダーを受付けないことがあったり、自動返信がされない場合もあるので留意 ○サマリー・ログシートにマルチ、得点は必ず記載 ※記載のないものは書類不備扱い ○電子ログの受付に関し、システム上の問題等によりメールの再送信もしくは郵送での提出をお願いすることがあり、システム上の問題が発生した場合、やむを得ず電子ログの受付を中止する場合がある。その場合は予めHP上で告知 ○社団局等は参加資格がないため書類提出はできない

締切 11月15日(金)必着

発表 入賞者はJARL NEWS地方コンテスト結果、全参加者の成績は支部HP (<https://www.jarl-tokyo.org/wp2/>)で ※発表の順序は前後することがある

その他 前記以外のルールは原則としてJARLコンテスト規約に準ずる

アワード ○「6 Hours Worked Tokyo 全市賞」, 「同全区賞」, 「同全都・島賞」を、本コンテスト時間内に全市

(002~030), 全区(101~123), 全都・島(201~204)の4マルチプライヤーと401~431のうちの1マルチプライヤー計5マルチプライヤー)とそれぞれ完全な交信が成立した局に発行。シングルバンド、マルチバンドの制限はない。特記なし ○申請先はコンテスト関係書類提出先と同じ ○申請方法：サマリーシート下部(意見欄)に「アワードを希望する旨」, 「全市賞」「全区賞」「全都・島賞」アワードの種別を明記。返信用切手と封筒は不要 注1) 参加証はJARLビューローの業務軽減のため廃止

【市区町村ナンバー】 002八王子市 003立川市 004武蔵野市 005三鷹市 006青梅市 007府中市 008昭島市 009調布市 010町田市 011小金井市 012小平市 013日野市 014東村山市 015国分寺市 016国立市 019福生市 020狛江市 021東大和市 022清瀬市 023東久留米市 024武蔵村山市 025多摩市 026稲城市 028羽村市 029あきる野市 030西東京市 101千代田区 102中央区 103港区 104新宿区 105文京区 106台東区 107墨田区 108江東区 109品川区 110目黒区 111大田区 112世田谷 113渋谷区 114中野区 115杉並区 116豊島区 117北区 118荒川区 119板橋区 120練馬区 121足立区 122葛飾区 123江戸川区 201瑞穂町 202日の出町 203檜原村 204奥多摩町 401大島町 402利島村 403新島村 404神津島村 411三宅村 412御蔵島村 421八丈町 422青ヶ島村 431小笠原村 ○道府県ナンバー：JARL制定都道府県ナンバー参照 ※北海道は01とし「その他」は除く

国営昭和記念公園

アウトドアフェスティバル2019へ出展

当支部では、国営昭和記念公園が主催するアウトドアフェスティバル2019へ「災害に強いアマチュア無線」と題して出展します。当日はお子様でも楽しめるよう特小無線機等での無線体験や公開運用を予定しております。アウトドア・防災・スポーツといろいろな団体や会社の出展がありますので、ぜひともご家族で思いっきり楽しみませんか？

日時 11月9日(土)~10日(日) 10:30~16:00 ※10日(日)15:30まで ※荒天中止

場所 国営昭和記念公園「ゆめひろば」東京都立川市緑町3173

問合せ 国営昭和記念公園管理センター ☎042-528-1751 <http://www.showakinen-koen.jp/>

支部出展担当 JA1MUY 仙石康信 Eメール:jalmyu@jarl.com

第39回東京UHFコンテスト

青少年層の拡大の一助のため新たに参加部門としてヤング部門を電信電話部門に設けました

日時 11月23日(土/祝) 09:00~15:00 (JST)

参加資格 国内アマチュア局(移動運用する局も含む)、SWL ※社団局・特別局・特別記念局(以下「社団局等」という)は除く

使用周波数帯 ○430MHz帯(JARLコンテスト使用周波数帯による) ○1200/2400/5600MHz/10GHz帯は総務省告示のアマチュアバンド使用区別による 注1)

A2A 電波による電信はAM/SSB, F2A 電波による電信はFMの使用周波数帯とする

参加部門・種目・コード 注1)電波型式は自局に許された範囲 注2)SWLの種目はオールバンド・シングルバンドの区分をしない 注3)ヤング部門の局のオペレータはコンテスト開催当日現在の年齢18才以下とし、ゲストオペ、マルチオペでの運用はできないが、青少年の育成という観点を考慮してベテランが付いてのアシストは可。開局年数を問わない。ヤング部門のオールバンドは430MHz, 1200MHzの2バンドのみ。2400MHzバンド以上にも参加し、得点を計上した場合は、一般部門へのエントリーとみなす。サマリーシートの意見欄に、オペレータの年齢を明記。明記なき場合は、一般部門へのエントリー

部門	種目	都内		都外	
		一般	ヤング	一般	ヤング
電信 電話	オールバンド	1XA	1YA	2XA	2YA
	430MHzバンド	1X430	1Y430	2X430	2Y430
	1200MHzバンド	1X1200	1Y1200	2X1200	2Y1200
	2400MHzバンド	1X2400		2X2400	
	5600MHzバンド	1X5600		2X5600	
	10GHzバンド	1X10G		2X10G	
	SWL	1XSWL	1YSWL	2XSWL	2YSWL

呼出 ○電信「CQ TK TEST」 ○電話「CQ トウキョウ コンテスト」

コンテストナンバー ○都内局：シグナルレポートRS (T) + 自局の運用地点を示す市区町村ナンバー ○都外局：シグナルレポートRS (T) + 自局の運用地点を示す道府県ナンバー 例)相手局のRS (T) が59 (9), 自局の運用場所が江戸川区の場合のコンテストナンバーは59 (9) 123, 自局の運用場所が鹿児島県の場合は59 (9) 46 ○都外局同士の交信も有効

禁止事項 ○クロスバンドによる交信 ○2波以上の電波(バンドの異なる場合も含む)の同時発射 ○コンテスト中の運用場所変更 ○レピータによる交信 ○総務省告示のアマチュアバンド使用区別の逸脱

得点・マルチプライヤー [アマチュア局] ○得点：完全な交信で相手局が都内局：2点, 都外局：1点 ○マルチプライヤー：各バンドで交信した異なる都内の市区町村と道府県数 [SWL] ○得点：完全な交信をした都内局を受信：2点, 都外局：1点 ○マルチプライヤー：各バンドで受信した異なる都内の市区町村と道府県数 注1)同一バンド内における重複交信は、電波型式が異なっても得点やマルチにはならない 注2)SWLは、注1)の「交信」を「受信」と読みかえる 注3)アマチュア局は交信した局の中に社団局等が含まれる場合この交信を得点に計上してよい 注4)SWLは受信した個人局の交信相手に社団局等が含まれる場合この受信を得点に計上してよいが、逆に社団局等が他の局と交信しているのを受信して得点に計上することはできない

総得点 ○オールバンド：各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチプライヤーの和 ○シングルバンド：当該バンドで得た得点×当該バンドで得たマルチプライヤーの和

都内JARL登録クラブの得点・順位 都内JARL登録クラブの構成員(個人局)から申告された総得点をクラブ

ごとに計上、順位を決定3位まで表彰 ※サマリーシートのクラブ対抗欄の登録クラブ番号を正確に記入 ※クラブ名等のみの場合は対象としない

賞 ○各部門、種目の書類提出局数に応じて賞状(入賞者はJARL会員) ○都内局は各種目の3位まで ○都外局は各エリアの参加数に応じ、10局以下：1位まで11局以上20局以下：2位まで 21局以上：3位まで ○JARL NEWS発表後に賞状を直接本人に郵送。各アワードも同様

書類提出 [紙ログ] ○JARL制定のサマリーシート・ログシート、またはこれと同形式のものを使用(A4サイズ厳守) ○参加局は、全部門を通じて1つの種目のみにサマリーシート・ログシートを提出 ○サマリーシートに「コンテスト名称」「参加部門・種目コード」「コールサイン」を記入 ○郵送提出先 〒166-0012 東京都杉並区和田1-44-8 可見長英 [電子ログ(Eメール)] ○提出先 jarltokyo@gmail.com ○形式はJARL形式に準じるが、原則としてJARLコンテスト電子ログ・サマリーシート作成ページのVERSION=R1.0。全文をメール本文に貼り付けて送信(参考：VERSION=R1.0支部HP「コンテスト規約」「東京都支部主催コンテストログ・サマリー提出用ツール」の項) ○Eメールのsubject(主題：タイトル)は、提出局のコールサイン(例：JA1***/1 など) ○JARL形式に準じない申請書は不可とし、申請書を添付ファイルで提出したものはウイルス対策等に鑑み、書類不備扱い ○自動返信による書類受付の返信メールを送信した際、書類のフォーマット、記載内容に関しての不備の有無までは示していない。gmailは特定のプロバイダーを受け付けないことがあったり、自動返信がされない場合もあるので留意 ○サマリー・ログシートにマルチ、得点は必ず記載 ※記載のないものは書類不備扱い ○電子ログの受付に関し、システム上の問題等によりメールの再送信もしくは郵送での提出をお願いすることがあり、システム上の問題が発生した場合に、やむを得ず電子ログの受付を中止する場合がある。その場合は予めHP上で告知 ○社団局等は参加資格がないため書類提出はできない

締切 12月15日(日)必着

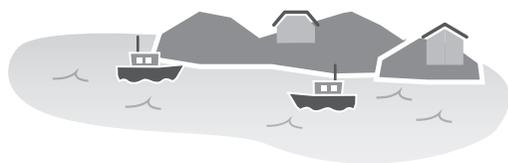
発表 「東京CWコンテスト」に準ずる

その他 前記以外のルールは原則としてJARLコンテスト規約に準ずる

市区町村・道府県ナンバー 「東京CWコンテスト」参照

アワード 「東京CWコンテスト」参照

※参加証はJARLビューローの業務軽減のため廃止



Report ハムらde無線フェア報告



去る、6月9日(日)雨天の中、東京都羽村市産業福祉センターにて羽村市等の後援を得て360名を超える参加者による「ハムらde無線フェア」が開催されました。

この集いは、地域無線クラブや個人有志と当支部を含めて実行委員会を設け、青少年からシニア世代を含め電波科学に興味を持った人々との交流で地域の活性化と災害時に協力できる次世代の後継者育成を目指したコミュニケーションづくりに着目することを目的におこないました。

セミナーは、「ドローンと無線」、「ブラインドハムの受験奮闘記」、「ライセンスフリー無線の紹介」、「3.11・大規模被災地の当時と今」、「移動運用の楽しみ」についてあり、屋内展示では、各メーカーのブースでの機器の説明があり、関東総合通信局・電子申請相談コーナーやJARLの無線機測定と相談コーナー、ドローンゲームコーナー、ライセンスフリー無線コーナー、電通大無線クラブの安全帯装着体験コーナー、防災対策減災コーナー、屋外では、「モバイルFOXカー」や「どこでも無線運用キャンピングカー」の展示、JA1YRL/1公開運用がおこなわれた。アンケートによると参加者の多くは「口コミ」によるもので、興味のあるところの欄では、アマチュア無線とドローンについても多かった。当日は、地元ケーブルTVの多摩ケーブルネットワーク(TCN)や西多摩新聞等の取材があり、後日TCNにてこの模様を紹介されました。

次回は、2020年4月19日(日)羽村市の後援が得られ羽村市生涯学習センター「ゆとろぎ」での開催となりました。詳細は支部HPで、ぜひ、ご参加をお待ちしております。

Report 東京都支部登録クラブ代表者会議報告



去る、7月27日(土)、渋谷区にある「国立オリンピック記念青少年総合センター」会議室にて、登録クラブ代表者会議をおこない、参加31団体からのクラブの活動や簡単な紹介、今後の当支部の行事予定についてお知らせしました。

また、以前より10月を東京都支部オンエア一月間にしませんか?との提案がありましたので今回参加希望のクラブと共通QSLカード等を作成するなどして運用を試みようとなりました。皆様との交信を楽しみにしております。詳細は当支部HPをご覧ください。

今回の会議では、当支部登録クラブ「テレビジャパン」のJE1BQE根日屋さんをお願いして「人体通信」について、特別講演をしていただきました。

神奈川県

ニュー・オペレーターズ・セミナー

日時 10月19日(土) 10:00~15:00

場所 〒241-0815 神奈川県立公文書館 横浜市旭区

中尾1-6-1 <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f1040/>

交通 相鉄線「二俣川駅」(横浜駅から急行で11分)下車、徒歩17分、または相鉄バス「運転試験場循環」で「運転試験場」下車徒歩3分 ※駐車場スペースが限られています、できるだけ公共交通機関をご利用ください

内容 ○電波の適正利用について：監査指導委員が電波を正しく利用するためのルールやマナーを分かり易く説明 ○運用のテクニックやマナー：初心者のための日常やコンテストの時の交信テクニックやマナーを模擬交信で紹介、参加者同士での交信など ○楽しみ方：コンテスト、アワード、移動運用などのいろいろな楽しみ方を紹介 ○QSLカードやログの書き方 ○無線局免許状の申請方法 ○開局相談などを現役ハムのベテラン講師がわかりやすく解説

対象者 ○開局したいけれど、分からないことが多い方 ○もっとハムの楽しみ方を知りたい方 ○アマチュア無線の免許を取りたい方など ○どなたでも参加できます

参加費 食事代・テキスト代に充当 ○JARL会員1,000円(会員と証明できるものを持参) ○非会員1,500円(当日入会の方は会員扱い)

定員 30名

申込み方法 支部HP申込み可【往復はがき】①「セミナー参加希望」と明記、②住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥コールサイン(お持ちの方)を記入 〒225-0005 横浜市青葉区荏子田2-6-6 森野 富士彦(JF1NEF)まで ☎090-3089-1541【電子メール】件名：セミナー参加希望、上記②~⑥の項目を森野宛：jf1nef@jarl.com まで ※折り返し確認メール(参加証)を送信

締切 往復はがき、電子メールとも、10月5日(土)必着

※会場案内図、WEBからの申し込みについては、支部HP <http://www.jarlkn.info/> をご覧ください

かながわハムの集い2019

JARL会員の方はもちろん、これからアマチュア無線を始めた方など、どなたでも楽しく参加できます。も

ちろん参加費は無料、ご家族、ご友人、ご隣人をお誘いのうえ、ぜひご来場ください

日時 11月10日(日)受付開始10:00 開会10:30

会場 相模原市立産業会館 <https://hall.ssz.or.jp/>
〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-1 ☎042-768-2311(代表)

交通 ○JR横浜線「相模原駅」徒歩約20分 ○神奈川中央交通バス「市民会館前」徒歩3分、「市役所前」徒歩5分 ※施設のHPで確認ください。できるだけ電車・バスをご利用ください

主な催し物 ○総務省電子申請コーナー ○メーカー展示コーナー ○講演:内容未定 ○お楽しみ抽選会:来場者全員に抽選券配布(空クジあり) ○クラブ展示・紹介コーナー ○アマチュア無線紹介(アマチュア無線って何?)コーナー ○アマチュア無線を始めたい方の相談コーナー ○記念撮影 ○QSLカードコンテスト(各自で持ち込み展示したカードから選考) ○オール神奈川フォトコンテスト, 作品展示, 表彰 ○支部事業・会計報告 ○支部主催コンテスト(オール神奈川, 非常通信訓練)表彰 ○JARL入会受付

参加 自由 ※会員証提示の必要はありません

出展申込み ○金銭の授受をとまなうリサイクルコーナー, ジャンク市等は会場使用の制限から実施しません ○クラブ展示・紹介コーナーへ出展希望の方は, 10月18日(金)までにメールもしくはハガキで下記の宛先まで申し込みください

※出展・展示スペースが限られていますので, 申し込み多数の場合は抽選。ジャンク市はフィールドミーティングで実施しますのでご理解をお願いします

問合せ・宛先 〒225-0005 横浜市青葉区荻子田2-6-6 森野富士彦(JFINEF) ☎090-3089-1541 Eメール: jflnef@jarl.com

支援クラブ(予定) JARL横浜クラブ, はまかぜクラブ, 横浜消防アマチュア無線クラブ等

※詳細は決定次第支部HP <http://www.jarlkn.info/>でお知らせします

「かながわアマチュア無線非常通信ネットワーク」ロールコール

恒例のロールコールを, 実施します。

神奈川県内, 隣接地域のアマチュア無線局の参加・協力をお願いします。

今回もオペレーション技術向上を図るため, JARL登録クラブからキー局を若干募集し, 神奈川県内から運用していただきたいと思います。希望されるJARL登録クラブは, 11月22日(金)までに公募の問い合わせ先まで申込んでください。運用方法, 申込み多数の場合のキー局決定は調整します

日時 12月1日(日)10:00~12:00

周波数 432.420MHz付近

モード F3E(FM)

キー局 横浜市, 横須賀市, 小田原市の各市内, 公募したJARL登録クラブ局が運用

問合せ先 〒225-0005 横浜市青葉区荻子田2-6-6 森野富士彦(JFINEF) ☎090-3089-1541 Eメール: jflnef@jarl.com

新年アイボールパーティー

毎年恒例になりました新年アイボールパーティーを開催します。新春のひとときを楽しく過してみませんか。お楽しみ抽選会などのプログラムを沢山用意して, 皆様のご来場をお待ちしています

日時 令和2年1月19日(日)11:00~13:30

場所 県立かながわ労働プラザ(Lプラザ)9階レストラン「味采」 <http://www.zai-roudoufukushi-kanagawa.or.jp/~l-plaza/> 〒231-0061 横浜市中区寿町1-4 ☎045-633-5413

交通 JR根岸線石川町駅下車徒歩3分 ※駐車場は限られた台数。電車・バスをご利用ください

参加費 1人3,500円

会場準備の都合上, 参加希望の方はコールサイン, 氏名, 電話を明記 振込先:郵便振替 JARL神奈川県支部口座番号 00290-1-83664 の口座へ令和2年1月10日(金, 厳守)までに参加費を振込んでください ※料理手配のため, 当日の参加受付しません。また, 当日参加されない場合でも参加費は返金しません(高校生以下の方の参加は無料, 問合せください)

○当日は, オークションをおこないますのでご協力いただける方は持参ください ○会場ではお酒が提供されますので, 飲酒される方はお車の利用をご遠慮ください

問合せ先 加藤寛治(7M1MBO) Eメール: 7mlmbo@jarl.com

Report 技術講習会「COMMONモードフィルターの製作とVNWAでの測定」終わる



7月28日(日), 横浜市中区の神奈川労働プラザ(Lプラザ)1階オープンスペースにおいて, 技術講習会「COMMONモードフィルターの製作とVNWAでの測定」が開催されました。この講習会は, アマチュアとして気軽にチャレンジできる周辺機器の一つとして, COMMONモードフィルターのキットを実際に製作, 自分が製作したCOMMONモードフィルターの性能をVNWA(ベクトルネットワークアナライザ)を使用し, 広い周波数帯でグラフ表示してどこまでの帯域で効果的に使用できるか等を確認, 自分で製作したCOMMONモードフィルターの性能を目で見ることで新鮮さに受講者の皆さんは興味津々, 目から鱗の1日でした。当日はJARL神奈川県支部の技術指導委員長JH1OHZ片倉由一氏を講師にお願いして開講, キットはなくても講演の聴講と参加者がCOMMONモードフィルターを製作している様子を見てみたいという熱心な方や県外からの参加者も含め, 定員を超える33名の皆様に受講いただきました。受講した皆様には, 各種インターフェアの実態やその対応についても理解を深めていただけたものと思います。中には, ハンダ付けは不慣れという方もいらっしゃいましたが, 製作の容易さと再現性を高めた完成度の高いキットを用意して

いただき全員が無事製作を完了、十分な性能があることを確認することができました。受講者の中には、自分で製作したコンモンモードフィルターを持ち込んでの測定も実施するなど充実感満喫の講習会でした。

支部では、今後も皆様からのご要望にお応えできるような講習会を企画していきますので、多数の方のご参加をお待ち申し上げます。

千葉県

第34回オール千葉コンテスト

日時 10月20日(日) 12:00~18:00

参加資格 日本国内のアマチュア無線局

周波数 136kHz~248GHz (WARCバンドを除く) ○使用周波数:JARL制定のコンテスト周波数帯, 136kHz帯, 1200/2400/5600MHz帯, 10.1/10.4/24/47/77/135/248GHz帯のアマチュアバンド ※1200MHz帯以上の周波数帯は、総務省告示の「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別」による ※1.9MHz帯は1.9080~1.9120MHz

参加部門 [県内局]○千葉県内に無線局設置場所、常置場所がありコンテストにおいて千葉県内で運用する局 ○県外に常置場所がありコンテストにおいて、千葉県内に移動して運用する局 [県外局]○コンテストにおいて、千葉県以外から運用する局

千葉県内・県外	部門	略称(サマリー記入)	
		千葉県内(C)	千葉県外(X)
個人局	電信	マルチバンド	C-CW X-CW
	電話	マルチバンド	C-電話 X-電話
	電信・電話	マルチバンド	C-MIX X-MIX
	電信	136kHz	C-136 X-136
	電信	1.9MHz	C-1.9 X-1.9
	電信・電話	3.5MHz	C-3.5 X-3.5
	電信	7MHz	C-7CW X-7CW
	電話	7MHz	C-7電話 X-7電話
	電信・電話	7MHz	C-7 X-7
	電信・電話	14MHz	C-14 X-14
	電信・電話	21MHz	C-21 X-21
	電信・電話	28MHz	C-28 X-28
	電信・電話	50MHz	C-50 X-50
	電信・電話	144MHz	C-144 X-144
	電信・電話	430MHz	C-430 X-430
	電信・電話	1200MHz	C-1200 X-1200
	電信・電話	2400MHz	C-2400 X-2400
	電信・電話	5600MHzUP	C-56UP X-56UP
	電信・電話	ジュニア	C-ジュニア X-ジュニア
	社団局	電信	QRP
電信・電話		QRP	C-QRP X-QRP
電信・電話		社団	C-社団 X-社団

※個人局はシングルOPに限り、マルチOPでの参加はできない。社団局はこれに限らない ※電信/電話/電信・電話でのマルチバンド/ジュニア部門の使用するバンド(136kHz~2400MHz) ※社団部門は、コンテスト中に運用した者の姓名、無線従事者資格を意見欄に明記 ※ジュニア部門15歳以下(中学校在学中も含む)はサマリー意見欄に年齢を明記 ※ジュニア・QRP・QRP CW部門:使用するバンド数に関係なくマルチバンドにエントリーとみなす ※QRP部門:空中線電力5W以下, 430MHz帯以下 ※5600MHzUP

部門:5600MHz帯以上のマルチバンド

交信相手 ○県内局:すべてのアマチュア局 ○県外局:千葉県内運用局

呼出 [電信]○県内局「CQ CB TEST」 ○県外局「CQ CBX TEST」 [電話]○県内局「CQ千葉コンテスト」 ○県外局「CQ千葉コンテスト(こちらは県外局)」

コンテストナンバー ○県内局:RS(T)+市郡区ナンバー ○県外局:RS(T)+都府県・地域等の番号例)相手局のシグナルレポートが「599」自局の運用場所が千葉県千葉市中央区「120101」:「599120101」

得点 ※県外局同士の交信は得点にならない ※同一バンドで同一局と電信と電話で交信した場合は、それぞれ1回ずつ得点として計上してよい ※同一バンドで同一市郡区と電信と電話で交信した場合はマルチは1(重複カウントに注意) ※得点計算ミスが目立ちますので注意

	県内運用局(自局)の場合		県外運用局(自局)の場合	
電信	県内局3点	県外局2点	県内局3点	県外局0点
電話	県内局2点	県外局1点	県内局2点	県外局0点

マルチブライヤー ○県内局:異なる都府県・地域等の番号, 千葉県内の異なる市郡区の数 ○県外局:千葉県内の異なる市郡区の数

総得点 ○シングルバンド:そのバンドで得た得点の和×そのバンドで得たマルチの和 ○マルチバンド:各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチの和

提出書類 ○JARL制定(A4サイズのみ受付)ログ・サマリー(同形式・コピー可) ○書類は1部門のみ提出 ○JARL所定様式の電子ログによる提出も可能 ○得点計算上バンドごとに電信・電話のログを分けてよい ※マルチの重複がないように必ずチェック

千葉県内登録クラブ対抗 ※12-××-××のみ ○JARL千葉県支部登録クラブに所属の個人局から申告された総得点をクラブごとに集計し、上位の登録クラブを表彰 ○登録クラブ対抗参加局はサマリーの登録クラブ欄に登録クラブ番号、登録クラブの名称を記載

ログ提出先 [紙ログ]〒260-8799 千葉支店 郵便私書箱 第28号(一社)日本アマチュア無線連盟 千葉県支部 [電子ログ(Eメール)]○chiba-test@jarl-chiba.info ○提出メールはテキスト形式でのメールの本文とするか、添付ファイルとして送信 ○サマリーシート, ログシートをつなげた1本のメールとし、途中で分割されたメールは受け付けません ○電子メールの件名は、コールサイン・参加部門(略称)を記入 例 JJ1UIB-C7電話 ○ログを受理した後、返信メールを送ります。必ず確認ください

問合せ先 SASE(上記の紙ログ提出先)またはchiba-test@jarl-chiba.info

締切 11月10日(日)郵便:当日消印有効

表彰 ○各部門の入賞者のJARL会員局に対し賞状 ○県内局, 県外局(関東在住)表彰は翌年のちばハムの集いでおこない, 当該局にはその旨(2月上旬頃まで)連絡 ※県外局で関東在住以外も希望により表彰 ○ちばハムの集い欠席者, 県外局への発送は, ちばハムの集い終了後の予定

入賞基準 原則として参加局5局以下:1位のみ, 6~10局:2位まで, 11~15局:3位まで, 16~20局:4位まで, 21局以上:5位まで

禁止事項 ○バンドプランやコンテスト指定周波数、免許範囲から逸脱した運用、法から逸脱した運用 ○クロスモード・クロスバンド・レピータ交信 ○シングルOPの2波以上の同時電波発射 ○マルチOPの複数地点での運用 ○同一バンドでの2波以上の同時発射 ○コンテスト中の運用地点の変更(コンテストナンバーが変わらない範囲での移動は認める) ○許可が必要な場所(東京湾アクアラインの人工島(海ほたるPA)や公共施設(公園)等)において、無許可で移動運用し、本コンテストに参加することを禁止 ○クラスター等の自己スレッドを禁止

失格事項 ○同一局の2部門への書類提出 ○規約違反 ○重複交信計上 ○サマリーシート等虚偽の記載

結果発表 JARL NEWS(入賞者のみ)、支部HP(<http://www.jarl-chiba.info/>)等

埼玉県

さいたまハムの集い

開催日 11月24日(日)

場所 本市市児玉文化会館(セルディ) 本市市児玉町 金屋728-2 ☎0495-72-8851

※プログラム等詳細は、支部HPに決まり次第掲載

茨城県

茨城県総合防災訓練

日時 10月26日(土)9:30~12:30

場所 古河市中央運動公園

運用周波数 51.28MHz, 145.28MHz, 433.28MHz

第28回ARDF茨城競技大会

共催 全国高等学校アマチュア無線連盟(JHARL) 関東・東北地区秋季大会

日時 ○11月23日(土) 144MHz帯部門 クラシック
○11月24日(日) 3.5MHz帯部門 クラシック

集合場所 水戸市森林公園大駐車場

競技周波数 145.66MHz, 3520kHz

競技時間 120分 スタート10:30予定

競技内容 JARL ARDF競技規則(茨城ルールあり)

クラス ○女子:W12/15/17/19/21/35/50/60 ○男子: M12/15/17/19/21/40/50/60/70/80 ○一般, 初心者グループ: N99

参加費用 1部門1クラス1名の個人参加 ○一般: 2,000円 ○19歳以下: 1,000円 ○共催への参加者: 1人500円 ※JARL会員は1/2の参加費用 ※保険付き ○N99: 1人100円 ※昼食等はお持ちください

申込締切 11月17日(日)23:59JST

申込方法 参加申込書(宣誓書)に参加費用を添えて Jh1dlj@jarl.com 問合せ先へ

問合せ・申込 〒310-0836 水戸市元吉田町733 田中康正(JHARLは学校単位で申込)

その他 ○お手伝いARDF協力員募集中 ○地図: 1/10000 TX: SIチップ使用 ○ルール・注意事項等は当日掲載

Report 令和元年度いばらきハムの集い



令和元年度いばらきハムの集いが6月30日(日)東茨城郡城里町のサテライト水戸ライブ館にて開催。

当日はJG1KTC高尾会長, JH1LWP島田関東地方本部長をはじめ関東地方本部各支部長を来賓にお招きして、午前中はジャンク市、講演会をおこない、380名の参加があり盛況でした。特に高尾会長の「JARLの現状」の講演では活発な意見交換がありました。

午後からは、支部事業報告、事業計画、会計報告、予算計画、コンテスト表彰、抽選会がおこなわれました。

栃木県

2019栃木県支部ARDF競技大会

日時 11月3日(日)144MHz A2A

受付時間 9:30~10:00

開会式 10:00受付前 ※スタートできる状態で集合

集合場所 塩谷町自然休養センターP <https://yahoo.jp/gfmNh5>

クラス M12/M15/M19/M21/M40/M50/M60/M70 W12/W15/W19/W21/W35/W50/W60

申込受付 10月22日(火)必着 ○郵送 申込書・誓約書・返信用封筒(3形・切手を貼る) [メール] 申込書・誓約書(PDF)を添付 ※返信用封筒不要

申込先 ○〒321-0166 宇都宮市今宮2丁目18番14号 谷田部幸行 ○Eメール jelxxo@jarl.com

問合せ メールにて

参加費 ○JARL会員一般2,000円 M19以下1,000円 ○JARL非会員一般4,000円 M19以下1,000円 ※障害保険含む, 弁当なし ○郵便為替 ○郵便振替記号10790 番号16597281 名前オオノマサオ ○銀行振込 郵貯銀行(9900) 七八支店(78) 普通口座1659728 口座名オオノマサオ ※参加費は理由を問わずお返しできません

注意 ○競技目的での集合場所周辺への立ち入りは禁止 ○未成年者の携帯電話, 緊急時使用にての携帯OK ○GPSロガーは, データ表示のできない物に限り使用可能

協力 宇都宮無線クラブ, 関東ヤングハムクラブ

群馬県

令和元年度群馬ハムの集い

どなたでも参加できます。会員以外の方やアマチュア

無線に興味がある方をお誘いいただきお出かけください。JARL入会を受け付けます。キャンペーン中で入会金を免除し記念品を贈呈します。また、3年会費で継続の方にも記念品を贈呈します。この機会にぜひご入会・継続ください

日時 12月1日(日) 10:00~15:00 ※出展(店)等は12:30まで

場所 ヤマダグリーンドーム前橋 1階会議室 前橋市岩神町一丁目2-1 URL: <http://greendome.jp/>

内容 [10:00 受付開始] ○クラブ等展示 ○不用品フリーマーケット ○アマチュア無線なんでも相談コーナー(ニューカマー歓迎) ○JARL入会受付 ○JARL転送QSLカードの受付 ○アイボール10アワード等 ○お楽しみ抽選会

出展の申込 クラブで出展(店)希望のある方、個人で出展(店)、ジャンク店も歓迎 ○先着順に受付、出展(店)希望者が多い場合会場の都合でお断りすることがあります ※JARL登録クラブは優先 ○小間割の関係があります。事前に概要、電源使用の有無をお知らせください ○出展(店)は屋内のみ ※屋外は使用できませんので注意 ○展示用に使用するテーブルを保護するため、長テーブル前後2個程の大きさの布(テーブルクロス)などを持参して、汚れ防止、傷防止をして使用をお願いします ○出展(店)の準備は9:30から。出展(店)者は荷物を下ろした後車を駐車場へ移動 ○申込は整理の都合で11月9日(土)~11月23日(土)

出展申込先 ○Eメール: jelsyn@jarl.com ○〒379-2154 群馬県前橋市天川大島町1-34-8 池田敏一 ※できるだけメールでお願いします。郵便での申込みは、往復はがきまたは返信用はがきを同封 ※3日以内に返信(郵便は返信の投函)しますので、返信がない場合は再度問合せください

山 梨 県

第34回県民の日記念公開運用

県支部では第34回山梨県「県民の日」記念公開運用を実施します

日時 11月17日(日) 10:00~15:00

会場 小瀬スポーツ公園内

運用局 こうふ開府500年特別局 8J1KOFU

周波数 7/10/21/144/430MHzを予定

その他 ○天候等気象条件によって、予定変更となる場合があります ○運用希望の方は必ず、無線従事者免許証とJARL会員証を持参 ○当日は同会場にて「県民の日」の祭事が開催されています。ご家族お揃いでお出かけください

第56回山梨地区非常通信訓練コンテスト

開催日時 11月23日(土/祝) 06:00~09:00

参加資格 山梨県内のアマチュア局 ※山梨県内のアマチュア局とは山梨県内に在住するアマチュア局 ※当日のみ県外から移動して運用した局は含まれない

使用周波数帯 ○7MHz帯(7.060~7.070MHz) ○21MHz帯(21.380~21.400MHz) ○28MHz帯(28.700~28.750MHz, 29.200~29.300MHz) ○

50MHz帯(50.400~51.500MHz) ○144MHz帯(144.350~144.500MHz, 144.750~145.600MHz) ○430MHz帯(430.250~430.700MHz, 432.100~432.800MHz) ○1200MHz帯(1294.20~1294.30MHz, 1295.20~1295.30MHz)

電波型式 電話(FM, AM, SSB)のみとし、各周波数帯での電波型式は電波法に定める使用区分に従う

参加部門 ○シングルオペ、シングルバンドの部 ○シングルオペ、マルチバンドの部 ○ニューカマーの部 ○マルチオペ、マルチバンドの部 注1) シングルオペはコンテスト中の運用に関わるすべてのことを一人でする 注2) シングルバンドは1つの周波数帯で運用 注3) マルチバンドは2つ以上の周波数帯で運用 注4) ニューカマーは初めて局を開設した個人局で、免許年月日が2016年11月23日以降に免許された局 注5) ニューカマーの部にはシングルバンド、マルチバンドの区別はない 注6) マルチオペの一人として参加した者はシングルオペとして参加することはできない

JARL登録クラブ対抗 JARL登録クラブ(山梨県支部の登録クラブに限る)の構成員、マルチオペ1局ならびにシングルオペ局から申告された総得点をもって登録クラブごとに順位を決定

呼出「CQ山梨OSOコンテスト」

コンテストナンバー ○「クンレン」を前置 ○RS符号による相手局のシグナルレポート ○自局の運用場所を示す市町村名 ○電文「異常なし」例) 相手局のシグナルレポートが「59」、自局の運用場所が「甲府市」の場合、「クンレン59甲府市 異常なし」

交信上の禁止事項 ○クロスバンドによる交信 ○コンテスト中の運用場所の変更 ○シングルオペの同一または異なるバンドにおける2波以上の電波の同時発射 ○マルチオペの同一バンドにおける2波以上の電波の同時発射 ○マルチオペの複数地点からの運用 ○V/UHF帯における呼出周波数での電波の発射

得点・マルチプライヤー 参加資格のある局との交信を有効 [得点] 連絡設定後、「交信方法」に定めるコンテストナンバーの交換が完全にされた交信を1点 ※同一バンドにおける重複交信(同一局との2回以上の交信)は1交信を除き、電波型式が異なっても得点としない [マルチプライヤー] 完全な交信をした相手局の運用場所を示す異なる市町村の数 ※バンドが異なれば同一市町村でもマルチプライヤー

総得点 ○シングルバンド: 当該バンドにおける得点の和×当該バンドで得たマルチプライヤーの和 ○マルチバンド: 各バンドにおける得点の和×各バンドで得たマルチプライヤーの和

書類の提出 ○JARL制定のサマリーシートとログシート(または同形式)を使用 ※部門に応じて、次のとおり ・マルチオペ: 運用した者の全員の氏名、無線従事者資格をサマリーシート意見欄に明記、ログシートには交信ごとに運用した者の氏名を記入 ・ニューカマー: 免許年月日をサマリーシート意見欄に明記 ○書類は種目のうち、いずれか1種目のみに提出 ○JARL登録クラブ対抗に参加する場合、登録クラブ番号、または名称をサマリーシートに記入 ○入賞対象者について、必要に応じて資料等の提出を求める場合がある

提出締切日 12月12日(木)到着分まで

提出先 ○郵送：〒400-0026 甲府市塩部1-5-11 竹田泉方 第56回山梨地区非常通信訓練コンテスト担当宛 Eメール jr1ety@jarl.com

備考 サマリーシートとログシートが必要な方は上記まで84円切手を貼付した返信用封筒を同封し請求、支部HP (<http://www.jarl.com/yamanasi/>) からダウンロード

賞 ○各種目の入賞者1~3位に対して賞状 ○書類提出者全員に参加賞

失格事項 次の事項は、失格 ○同一バンドにおいて、重複する交信局数がログシートに記載されている交信局数の2%を超えておりかつ、その重複する交信を得点としている場合 ○提出書類に記載されている内容について審査の結果、明らかに虚偽の記載が認められた場合 ○この規約に定める事項に違反した場合 ○電波法に違反しての運用が認められた場合

結果発表 JARL NEWS2020年春号(予定)、支部HP

異議申し立て コンテスト結果に対する異議申し立ては、結果発表が掲載されたJARL NEWS発行月の未までに、支部事務局に対しておこなうことができる

表彰 各種目の入賞者は2020年度のハムの集い席上で表彰

その他 本コンテストに関する質問は書類提出先、郵便またはEメールにて

2エリア

東海地方

地方本部

第51回東海ハムの祭典 (東海ハムの祭典2019)

テーマ 「伝えたい 無線の楽しさ 夢・未来」

キャッチフレーズ 「ハムの祭典が公会堂に帰ってきた!」

日時 10月13日(日)10:00~16:30

会場 名古屋市公会堂 名古屋市昭和区鶴舞1-1-3 JR、地下鉄鶴舞駅下車4番出口徒歩2分

入場料・参加料 無料

公式Webサイト：<http://www.tokai-jarl.jp/saiten/> ※詳細はP37参照

第44回東海マラソンコンテスト

今回、昨年終了した「D-STARコンテスト」を「東海マラソンコンテスト」の部門・種目として継承しています。同一局との交受信は、同一バンドにおいて電信・電話に加えて、D-STARもそれぞれ1交信(受信)ずつ有効になります。ぜひD-STARによる交信も一緒に楽しんでください。みなさん、7日間の「東海マラソンコンテスト」の完走を目指しましょう!

※前回からの変更点 ○D-STARの部門・種目追加にともない、必要な記述を追加・修正(東海マラソンコンテストに関する変更はほとんどありません)。書類の提出方法として「専用Webサイトから送る方法」を本格的に開始(JARL電子ログは「R1.0形式」での提出にご協力ください)

期間 11月1日(金)00:00~7日(木)24:00(JST)

資格 日本国内の陸上で運用するアマチュア局、SWL

交信(受信)相手 ○2エリア内の局(以下管内局)、D-STARレピータ部門に参加する局：日本国内の陸上で運用するアマチュア局 ○2エリア外の局(以下管外局)：2エリア内の陸上で運用する局に限る ○SWL：管内・管外を問わず2エリア内の陸上で運用する局に限る

使用周波数帯 50MHz帯以上で自局に許可された周波数帯

部門・種目・コードナンバー

※D-STARはDVモードによる音声(電話)のみの交信 ※D-STARレピータ利用部門の各種目への参加は、D-STARデジタルレピータを使用するものとし、「ターミナルモード」や「アクセスポイント」等を使用しない(参考：D-STARデジタルレピータ開設状況 <http://www.jarl.com/d-star/replist.pdf>) ※個人電話の各種目への参加は電話またはD-STARによる交信 ※個人電信電話の各種目への参加は電信と電話(またはD-STAR)の両方で交信していること。電信のみ、電話のみ、D-STARのみでは電信電話の各種目へは参加できない(SWLと管内局部門社団電信電話オールバンド種目を除く) ※管外局部門は個人局・社団局の区別をしない

部門	種目	コードナンバー
管内局	個人電信電話オールバンド	T-SMA
	個人電信電話50MHz帯	T-SM50
	個人電信電話144MHz帯	T-SM144
	個人電信電話430MHz帯	T-SM430
	個人電信電話1200MHz帯以上	T-SM1200
	個人電信オールバンド	T-SCA
	個人電信50MHz帯	T-SC50
	個人電信144MHz帯	T-SC144
	個人電信430MHz帯	T-SC430
	個人電信1200MHz帯以上	T-SC1200
	個人電話オールバンド	T-SPA
	個人電話50MHz帯	T-SP50
	個人電話144MHz帯	T-SP144
	個人電話430MHz帯	T-SP430
	個人電話1200MHz帯以上	T-SP1200
	個人D-STARオールバンド	T-SDA
管外局	社団電信電話オールバンド	T-M
	SWL電信電話オールバンド	T-SWL
	電信電話オールバンド	X-M
	電信オールバンド	X-C
	電話オールバンド	X-P
D-STAR レピータ 利用部門	D-STARオールバンド	X-D
	SWL電信電話オールバンド	X-SWL
	個人D-STARオールバンド	R-SDA
	個人D-STAR430MHz帯	R-SD430
	個人D-STAR1200MHz帯	R-SD1200

呼出 ○電信「CQ TKI TEST」 ○電話・D-STAR「CQ 東海マラソンコンテスト」 ※通常の呼出し応答による交信も可

コンテストナンバー ○管内局、管外局部門：RS(T) + バンドごとに001から始まる連続番号 ○D-STARレピータ利用部門：RS(T) + 自局が中継のために直接アクセスしたレピータ局のコールサイン(8文字) ※「中継に使用したレピータ局のコールサイン」は、送信局または受信局が中継のために設定した(D-STAR無線機のRPT1に設定した)直接アクセスするレピータ局のコールサイン(8文字目の「A」または

「B」まで省略せず記録)

得点 コンテストナンバーの交換が完全な交信(受信)を使用バンドにより次の得点 ○管内局、管外局部門：50～430MHzバンド1点 1200MHzバンド2点 2400MHzバンド5点 5600MHzバンド10点 10.1GHzバンド以上20点 ※同一局との交受信は、同一バンドにおいて電信・電話・D-STARそれぞれ1交信(受信)ずつ有効 ○D-STARレピータ利用部門：自局と交信(受信)局のレピータ局コールサインが同一(山掛け交信)の場合1点 自局と交信(受信)局のレピータ局コールサインが異なる(ゾーン内、ゲート越交信)の場合2点 ※同一局との交受信は「交受信日」「相手局の運用バンド」のいずれかが異なればそれぞれ有効

マルチプライヤー ○マルチ1：各バンドごとのサフィックスのラストレターの数(1バンド当たり最大26) ※ログシートのマルチプライヤー欄には、新たに獲得したラストレターを記入 ○マルチ2：運用日数(最大7) ※サマリーシートの局種係数の欄に記入
総得点 ○シングルバンド：当該バンドで得た得点×当該バンドで得たマルチ1の合計×マルチ2 ○マルチバンド(1200MHzバンド以上種目も含む)：各バンドで得た得点の合計×各バンドで得たマルチ1の合計×マルチ2

禁止事項 ○クロスバンド、クロスモード、レピータ等による中継交信(D-STARレピータ利用部門を除く) ○総務省告示の「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別」の逸脱(呼出周波数ではD-STARの運用はできませんので注意。呼出周波数でFMで連絡設定したうえで、別周波数でD-STARにより交信することは可能) ○JARL主催コンテスト使用周波数帯からの逸脱 ○同一の社団局による複数地点からの同時運用や、同一バンドにおける2波以上の電波の同時発射 ○個人局の2波以上の電波の同時発射 ○ゲストOPで運用した局の書類提出

注意事項 ○管外局同士の交信は得点・マルチとも無効(D-STARレピータ利用部門を除く) ○運用地点の変更は管内局・管外局ともに同一エリア内に限る ○2エリア内で複数の県にまたがって移動運用した時は、主に運用した県名を1つサマリーシートの意見欄に記入(主に運用した県は、東海コンテストQ&Aを参照) ○同一局の二種目以上の書類提出は不可 ○個人局の免許人またはその社団局の構成員であれば、同一オペレータが複数の個人局・社団局で運用してもよい ○電波法令に違反しないこと ○鉛筆書きによるログ・サマリーは書類不備扱い ○その他はJARLコンテスト規約に準ずる ○参加局は、コールサイン、氏名等が結果発表の際に公表されることがあるのでその旨了承すること

書類提出 ○JARL制定のログシート・サマリーシートまたは同形式のものを使用、サマリーシートを一番上にし、左上をホチキスなどで留める ○社団局は運用者の姓名(またはコールサイン)・無線従事者資格を意見欄に明記。記入しきれない場合はサマリー裏面または別用紙(他の書類と同サイズ)に記入 ○電子メールで書類を提出する場合には、JARL主催コンテストの電子ログと同形式とし、ログは必ず運用バンドごと

にまとめ、添付書類ではなくメール本文に貼りつけて送信(目視による審査をするため、ログシート部分はできる限りバンド順に並べる)

参加賞・完走賞・東海マラソン賞 希望者には次の賞を贈る ○参加賞：コンテストに参加し、書類を提出した場合 ○完走賞：開催期間中の7日間、1日1局以上と交信し、書類を提出した場合 ○東海マラソン賞：2003年度以降、異なる年度の参加賞または完走賞を5枚集めた場合 ○参加賞、完走賞は84円切手を貼ったSASE(長形3号、120mm×235mmの定型最大封筒に限る)に希望する賞名とコールサインを記入し同封。専用Webサイトや電子メールで書類を提出した場合には別途送付。東海マラソン賞の申請方法は別途定めます

締切 11月30日(土)当日消印有効

提出先 ○専用Webサイト：<https://isotope.sist.chukyo-u.ac.jp/tkitest/tokai-log.html>(次のQRコードからもアクセスできます)



※専用Webサイトから書類を提出すると、簡易的なログチェックや即時受理通知も受けられます

○郵送：〒470-0391 豊田北郵便局 私書箱20号 JA2RL「東海マラソンコンテスト」係 ※「コンテストログ在中」と朱書 ○電子メール：tokai-log@isotope.iso.sist.chukyo-u.ac.jp

表彰 ○管内局部門：参加局数に応じ1～5位を表彰するとともに、上位入賞に漏れた県別の1位局を別途表彰 ○管外局部門、D-STARレピータ利用部門：参加局数に応じ1～3位の局を表彰するとともに上位入賞に漏れたエリア別の1位局を表彰 ※表彰対象はJARL会員に限る

失格 ○同一バンドにおける重複交信(受信)局数がログシートに記載されている交信(受信)局数の2%を超え、かつ得点としている場合 ○審査の結果、提出書類に明らかに虚偽の記載が認められる場合 ○この規約に定める事項に違反した場合

問合せ 提出先までSASE、またはEメール(tkitst@isotope.iso.sist.chukyo-u.ac.jp)・HP(<http://isotope.iso.sist.chukyo-u.ac.jp/tkitest/>)まで

[東海マラソン賞] 東海地方本部コンテスト委員会では、2003年度以降、長期に渡って東海マラソンコンテストに参加した局のうち希望者に「東海マラソン賞」を贈ります

申請方法 ○指定の申請書を東海地方本部コンテスト委員会Webサイトからダウンロードするか、申請先までSASE(定型最大封筒に84円切手を貼付)で請求 ○申請書に所定の事項を記入し、集めた異なる年度の参加賞または完走賞5枚のコピー、申請手数料(切手200円分、例えば100円切手2枚)とともに申請先まで提出 ※その年度の東海マラソンコンテストに参加した場合には、申請書をログと同時に提出しても構いません。この場合、その年度の参加賞または完走賞送付用封筒が同封されているときに限り、集めた参加賞または完走賞のコピーは4枚で結構です(残りの1枚はその年度の参加賞または完走賞で充当。郵送料金不足に注意。参加賞、完走賞送付用封筒が同封されていない場合は、充当による申請はできません)

申請先 〒470-0391 豊田北郵便局私書箱第20号
JA2RL「東海マラソン賞」係 ※「東海マラソン賞申請書在中」と朱書

本年度の申請期間 2019年11月1日～2020年3月31日(当日消印有効)

注意 ○各年度の参加を証明する書類(コピー)は当該年度の参加賞または完走賞のいずれかで結構です。参加賞、完走賞のいずれも所持していない場合はその年度に関する申請はできません。また、同一年度の参加賞、完走賞はそのいずれかのみその年度の参加証明として使用できる ○申請に関わった年度の参加賞・完走賞は、以下の東海マラソン賞の申請に使用することはできません ○提出された書類は返却しません。参加賞、完走賞は必ずコピーを送付 ○申請期間終了後の申請は次回の申請期間までお待ちください

モリゾー&キッコロ・ウィンカー製作会

日時 12月15日(日)13:00～16:00

会場 中京大学名古屋キャンパスセンタービル2階ヤマテホール 名古屋市営地下鉄鶴舞線・名城線「八事」駅5番出口徒歩0分

内容 愛・地球博の人気もの「モリゾー&キッコロ」が「ピカッ!」と光るウィンカーを作成 ※キャラクターをクリスマスツリーや雪ダルマに変えることもできます ○電子工作が初めての方でも大丈夫。やさしいスタッフがお手伝いしてくれまます ※2度目の参加者向けに別メニューも用意

対象 小学生(4年生～6年生)とその親・保護者(2人1組) ※JARL会員以外の方も歓迎。ご近所にぜひ声をおかけください

定員 25組(50名) ※先着順で受付、申込はお早めに

受講料 1組800円 ※傷害保険料と工作材料費の一部をご負担いただきます。当日会場で徴収

※申込方法等、詳細は<http://www.jarl.com/expo8j2ai/>

ボランティアスタッフ説明会・講習会

東海地方本部では、東海地方で子供向け科学技術啓蒙活動をはじめとしてさまざまなイベントを開催しています。これらの楽しくやりがいのある活動を助けていただけるボランティアスタッフ(18歳以上のJARL会員に限り)を募集します

日時 12月15日(日)10:00～16:00

会場 中京大学名古屋キャンパスセンタービル2階ヤマテホール 名古屋市営地下鉄鶴舞線・名城線「八事」駅5番出口徒歩0分

内容 午前に説明・講習を受けた後、午後から早速活動を開始

※申込方法等、詳細は<http://www.jarl.com/expo8j2ai/volunteer.html>

岐阜県

岐阜県支部大会・ハムの集い

今年度の支部大会・ハムの集いも昨年度と同じ、緑と清流の町加茂郡七宗町でおこないます。みなさまのご参加をお待ちしています

日時 11月10日(日)10:00～15:30

場所 木の国七宗コミュニティーセンター 加茂郡七宗町上麻生(国道41号線、川並信号から約2分)

内容(予定を含む) ○支部大会(10:30～):事業・会計報告、コンテスト等表彰、全体写真撮影など(先着300名記念品あり) ○ハムの集い:講演会、各種ブース・メーカー展示、記念局運用、お楽しみジャンク、東海総通(規正局展示・電子申請等)、JARLコーナー、入会キャンペーン、お楽しみ抽選会他

その他 ○各種ブース展示、ジャンク市、フリーマーケット等の出店希望者の受け付けをします(先着順で、ブース展示6組、ジャンク等は12組) [受付方法(メールのみ)] ○ジャンクの場合 件名:JARL岐阜ジャンク
①代表者氏名、コールサイン ②連絡先電話番号
③メールアドレス ④品目 ※お楽しみ抽選会用の協力品をお願いします。ブースの広さ:横机2台、奥行き約3m(机、椅子2)調整あり ○ブースの場合 件名:JARL岐阜ブース ①クラブ等、代表者氏名、コールサイン ②連絡先電話番号 ③メールアドレス ④展示内容。ブースの広さ:横机2台、奥行き約3m(机、椅子2)調整あり ※JARL会員でないクラブ、個人の方はお断りします ○受付:10月1日～10月15日(件名を記載) 受付アドレス:hamfestival.gifu@gmail.com ジャンク、ブース担当者:JM2BVE(今井修) ※当日の飛び入り出店は、堅くお断りします ○転送用QSLカードは、転送取扱規程どおりにまとめてあるもののみを受付。その他詳しくは、支部ブログ参照
問合せ先 実行委員長 JH2ECC(國島孝之) ☎090-3301-4975 Eメール jh2ecc@asttaku67.com

Report 親子電子工作教室開催



2019年8月11日(日)、支部では恒例の夏休み親子電子工作教室を下呂市金山町で開催しました。7組の親子さん、11名のスタッフの皆さん、FMラジオの制作、無事に全員完成しました。

愛知県

愛知県支部大会

東海ハムの祭典内で実施します。ぜひご参加ください!
日時 10月13日(日)13:00～ ※東海ハムの祭典2019式典内

会場 名古屋市公会堂1階 大ホール 〒466-0064 名古屋市昭和区鶴舞一丁目1番3号 <https://nagoyashikokaido.hall-info.jp/> 名古屋市営地下鉄鶴舞線「鶴舞駅」下車4番出口徒歩2分、名古屋市営バス「鶴舞



公園前」下車徒歩3分、JR中央線「鶴舞駅」下車徒歩2分 ※周辺に駐車場(有料)はありますが、交通至便のため公共交通機関のご利用をお勧めします

内容 ○式典(主催者挨拶, 来賓挨拶ほか) ○第59回東海QSOコンテスト(愛知県支部内入賞者)表彰ほか
記念品 先着順に配布し、なくなり次第配布を終了。受付にて引換券を兼ねたアンケート用紙を受け取り、JARL愛知県支部ブースで記入済みアンケート用紙と引き換えます

※催事は予定であり変更する場合があります
※同会場では、東海ハムの祭典2019が同時開催されております

会員増強キャンペーンのお知らせ

支部では会員増強企画としてキャンペーンを実施します。入会だけでなく、会費継続等の手続きでも記念品がもらえる! さらに、その紹介者(お友達)も記念品がもらえる!

詳しくは支部会員増強企画のお知らせ(<http://www.jarl.com/aichi/kaiinzoukyou2019.pdf>)をごらんください ※当日来場できなかった方も記念品をゲットする方法も記載されています。

新たな仲間(入会者)をご紹介いただくのはもちろん、ご自身の会員継続もぜひこの機会に手続きをお願いします(まだ継続手続きのお知らせが到着していない方でも期間継続手続きが可能です!)

東海ハムの祭典・JARL愛知県支部会場では、各種キャンペーンも同時に適用されます。詳しくは東海ハムの祭典・JARL愛知県支部大会で会員増強企画特別キャンペーンをごらんください。

「ぼうさいこくたい2019@NAGOYA」 (防災推進国民大会2019) 出展

支部は、「ぼうさいこくたい2019@NAGOYA」(防災推進国民大会2019)に「停電や災害発生時でも自力で連絡可能なアマチュア無線」と題して2日間に渡ってブースを出展します。ぜひ、お子様を連れてご参加ください!

日時 10月19日(土)、20日(日) 10:00~16:00
場所 名古屋市 ささしまライブエリア 愛知県名古屋市
中村区太閤1丁目19-7 最寄駅:あおなみ線ささしま
ライブ駅 2階エントランス直結

入場 無料
内容 各種ワークショップ、プレゼン、ポスターセッション、テント展示、屋外展示、防災車両展示等
※同会場内の「あいち・なごや防災フェスタ」エリアに



ブース(TE-69)を構えて来場者の皆さまへアマチュア無線の楽しさを伝えます!

ぜひご来場ください!

ぼうさいこくたい2019@NAGOYAについて詳しくは専用Webサイト(<http://bosai-kokutai.jp/>)をごらんください

愛知県支部非常通信訓練 (愛知県・飛島村津波・地震防災訓練合同)

「愛知県支部非常通信訓練」を開催し、同時に「愛知県・飛島村津波・地震防災訓練」にも参加します

目的 愛知県全域を対象に非常通信訓練をおこない、より実践的な非常通信訓練の足掛かりとします

参加資格 ○原則として愛知県内で運用するアマチュア局としますが、県外からの参加も可能。JARL会員以外でも可能 ○運用条件(非常電源利用など)の制限はありませんので、商用電源利用など自由な運用条件で気軽に参加してください

日時 11月10日(日) 9:00~10:00まで(1時間)

訓練の種類(周波数帯・運用形態) 【FM電話(シンプレックス)】○144MHz帯、430MHz帯の各周波数 ○非常時を想定し運用周波数を事前公開せず、呼出周波数からエントリー ○サブ基地局が、空き周波数で「訓練・訓練・訓練+こちらはJ△2△△△+△△市からの運用です+訓練参加の局応答願います+どうぞ」のように送信 ○地区サポート局が、呼出周波数などで非常通信訓練のアピールやサブ基地局の運用周波数への誘導・案内 ○次の事項を通報・交換・自局の呼出符号・自局の運用地の市区郡名(JCC・JCGナンバーでも可)・RSレポート(ハンディ機などSメーターがない場合は耳Sでも可)・QSLカードの交換は、交信局同士で決める 【FM電話(レピータ利用)】次のとおり周波数(レピータ)を公開し、訓練 ※都合によりレピータ運用が変更になることもあり [430MHz帯] ○439.26MHz(JP2YGT)豊川市 ○439.58MHz(JR2WB)名古屋市中区 ○439.86MHz(JP2YGB)名古屋市昭和区 ○レピータ経由でサブ基地局が「訓練・訓練・訓練」を前置し、各局との交信 ○通報内容は、シンプレックスの訓練に準じる 【D-STAR】次のとおりD-STARレピータを公開し、訓練 ※都合によりレピータ運用が変更になることもあり。今年度も、画像の送受信訓練を実施。対象局はJP2YHE(439.19MHz)東海レピータのみとし、9:00から9:30までは愛知県からの送信に限定し、9:30から10:00までは全ての局からの送信を受信。まずは

DVモードで音声交信をした後、アンドロイドアプリRS-MS1Aを使って画像を送信。送信する画像は、160×120の低画質のもの [DVモード] ○JP2YHG (434.48MHz) 弥富レピータ ○JP2YHE (439.19MHz) 東海レピータ ○JP2YFO (434.08MHz) 刈谷レピータ【サブ基地局～愛知県本部局】10:00開始(終了は10:20ごろ) ○今年は愛知県本部局として東海市非常通信協力会(運用場所:愛知県東海市)が担当,運用。サブ基地局から愛知県本部局あてに次の事項を通報し,愛知県本部局が訓練規模を把握・自局の呼出符号・自局の運用地の市区郡名・RSレポート・通報受付件数 ○訓練規模が把握できたら,愛知県本部局から飛鳥村の「愛知県・飛鳥村津波・地震防災訓練」会場局へ無線通信により報告 ○会場局から「非常通信訓練終了」を愛知県本部局へ返信し,その後愛知県本部局からの一斉通報をもって全ての訓練を終了

訓練参加証明 サブ基地局との非常通信訓練の交信が成立した局には希望により次の要領で愛知県支部の「非常通信訓練参加証明書」(無料)を発行。はがきで次の事項を報告・自局の呼出符号・周波数帯・交信開始時刻・交信相手局(サブ基地局)の呼出符号・相手局信号のRS(レピータ信号で可)・運用地の市区郡名・その他参考事項(送信出力,アンテナ形式,アンテナ地上高など記述自由)・非常通信訓練参加証明書の送付先(郵便番号,住所,氏名)

送り先 〒476-0003 愛知県東海市荒尾町宮裏1-46 辻隆一郎(JF2SYH)方 愛知県支部非常通信ネット係あて,11月24日(日)まで(当日消印有効) ※非常通信訓練参加証明書は12月中旬までに発送予定

受信レポート サブ基地局と交信できなかった局(愛知県外局でも適用)でも,次の受信レポートで希望により「非常通信訓練参加(受信)証明書」(無料)を発行 ※その他は前述の「訓練参加証明」の要綱に準じる・自局の呼出符号またはSWLナンバー・受信日時・サブ基地局の呼出符号・サブ基地局のRS・受信地の市区郡名・その他の参考事項(アンテナの形式,アンテナの地上高など記述自由) 非常通信訓練参加(受信)証明書の送付先(郵便番号,住所,氏名)

問合せ先 ○〒476-0003 愛知県東海市荒尾町宮裏1-46 辻隆一郎(JF2SYH)
○Eメール: jf2syh@outlook.jp ※電話での問合せはご遠慮ください

愛知県・飛鳥村津波・地震防災訓練

県支部は,弥富防災HAMクラブの協力を得て,愛知県・飛鳥浦津波・地震防災訓練に参加します

日時 11月10日(日)9:00~11:30

場所 飛鳥村北拠点避難所 愛知県海部郡飛鳥村元成一丁目85他 ※アマチュア無線ブースは,メイン会場の北拠点避難所3階啓発展示エリア

訓練概要 南海トラフ巨大地震の関心が高まっているなか,災害発生時のアマチュア無線の有用性をアピール ○会場内外の音声通信デモ9:00~11:00 ○アマチュア無線の紹介9:00~11:00 ○D-STARによる画像・文字伝送の展示9:00~11:00



三重県

非常通信訓練

今年,10月27日(日)に実施予定です。

支部では防災関連で三重県と協定を結んでおり,毎年県が開催する三重県総合防災訓練に毎回参加しております。今年,松阪市をメイン会場として開催されます。

支部では,津市(県庁舎)を中心に中継局の開設も含め,三重県防災アマチュア無線連絡会と連携し,県内全域のクラブ局・個人局による通信訓練を計画しております。

県の訓練内容が決定次第,具体的な訓練内容を支部HP(<http://jarl-mie.com/>)に記載しますので,各局のご参加をお願いします。

支部大会

「三重県HAMフェスティバル」と題して毎年好評いただいているJARL三重県支部大会を下記のとおり開催します。アマチュア無線に興味のある方ならどなたでも参加いただけます。ぜひ皆さんお越しください

日時 11月24日(日)10:00~16:00

場所 サンワーク・津 〒514-0002 三重県津市島崎町143-6

内容 今年,特別企画「アマチュア無線@昭和の輝き」を開催予定 ○支部大会式典 ○コンテスト表彰 ○講演会(演題等未定) ○登録クラブ展示 ○各種機器展示 ○支部と語る会 ○支部社団局公開運用 ○ジャンク市 他

※内容の詳細,会場(駐車場)アクセスは支部HP(<http://jarl-mie.com/>)参照。特に,会場付近は駐車禁止区域や複数の駐車場などがあります,必ず支部HPの会場アクセス・駐車場案内をご覧のうえお越しください。

その他 当日,会員証を持参。先着順で記念品のプレゼントを予定。支部社団局JJ2YJCの公開運用のオペレートも可能

3エリア

関西地方

京都府

第36回KCWA CWコンテスト

日時 12月01日(日)10:00~20:00

参加資格 日本国内で運用する個人アマ無線局に限る

使用周波数帯 3.5/7MHz帯 A1(電信) ※JARL主催コンテスト使用周波数帯

参加種目 ○3.5MHzバンド ○7MHzバンド ○マル

チバンド(3.5MHz, 7MHzバンド) 参加種目は前記3
種目のうち1種目に限り有効

呼出「CQ KT TEST」

コンテストナンバー RST + KCJ制定都府県支庁略称
+ 001から始まる一連番号 ※一連番号は001からバ
ンドごとに送信

得点 ○完全な1交信を1点とし、同一バンドにおける
同一局との交信は1交信のみ得点を計上できる ○完
全な交信とは提出されたログを互いに照合し、交信時
刻、相手局名、送受信コンテストナンバーなどが一致
すること ※ログ不提出局との交信は得点とならない
マルチプライヤー 各バンドで交信した、異なる都府県
支庁略称の数

総得点 ○シングルバンド種目: 当該バンドで得た得点
の和×当該バンドで得たマルチの和 ○マルチバンド
種目: 各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマル
チの和

表彰 各種目1位に盾と賞状、2～3位には賞状

失格 ○クロスバンド交信 ○コンテスト中の運用場所
の変更 ○2波以上の電波の同時発射 ○ゲストオペ
運用交信 ○クラブ局との交信 ○規約違反: 同一バ
ンドにおいて同一局との交信に重複して得点を計上し
ている件数、同一バンドで同じマルチを重複して計上
している件数の合計が、得点を計上している交信数の
2%を超えている時 ※ $(\text{重複交信得点件数} + \text{重複マル
チ計上件数}) \div \text{得点計上交信数} = 2\%$ を超えるとき

提出書類 ○JARL制定ログ・サマリーまたは同形式。
効率化のためパソコンでログを印刷された方はFDな
どを同封 ○前記ログ・サマリーと同一内容がTXT
形式に記録されたEメールまたはFDでも受付 ※
FDラベルにコンテスト名、参加種目、コールサイン、
署名を記入 ○シングルバンド種目参加局で、他のバ
ンドでも交信した場合はそのチェックログを添付

締切 12月31日(火) 当日消印有効

提出先 [Eメール] ネットでの紛失防止のためja3dlm@
jarl.com とkcwakwa@gmail.com の2ヶ所へ送信
○件名にKCWAと自局のコールサインを必ず記入
(例) KCWA JA3DLM [書類] ※封筒に自局のコー
ルサイン明記、記録媒体同封歓迎 〒607-8492 京都
市山科区日ノ岡夷谷町17-80 JA3DLM 岡田昌昭気付
京都CW愛好会事務局コンテスト委員会宛

発表 ○JARL NEWS春号に掲載予定 ○直接入手希
望の方は94円切手貼付のSASE(コールサインも明記)
同封 ○KCWA HP <http://www.jarl.com/kcwa/> に
も掲載

共催 関西HAMセミナー・JARL京都府支部・京都CW
愛好会

< KCJ制定都府県支庁略称 > 宗谷SY 留萌RM 上
川KK 旧網走ABまたはオホーツク振興局OH 空
知SC 石狩IS 根室NM 後志SB 十勝TC 釧路
KR 日高HD 胆振IR 檜山HY 渡島OM 青森
AM 岩手IT 秋田AT 山形YM 宮城MG 福島
FS 新潟NI 長野NN 東京TK 神奈川KN 千葉
CB 埼玉ST 茨城IB 栃木TG 群馬GM 山梨
YN 静岡SO 岐阜GF 愛知AC 三重ME 京都
KT 滋賀SI 奈良NR 大阪OS 和歌山WK 兵庫
HG 富山TY 福井FI 石川IK 岡山OY 鳥根SN

山口YG 鳥取TT 広島HS 香川KA 徳島TS
愛媛EH 高知KC 福岡FO 佐賀 SG 長崎 NS
熊本 KM 大分 OT 宮崎 MZ 鹿児島 KG
沖縄ON 小笠原OG 南鳥島MT

滋賀県

2019年滋賀県支部HAMのつどい

会員・非会員を問わず、皆様方ぜひお誘い合わせのう
え多数のご参加をお待ちしています

日時 11月10日(日) 10:00～15:00 受付9:30～

場所 長浜市立湖北文化ホール 滋賀県長浜市湖北町
速水2745 ☎0749-78-1287 JR北陸本線河毛駅下車
徒歩約8分 ○駐車場あり。近くにコンビニ、食堂等
あり

内容 [午前] ○第23回ALL滋賀コンテストの表彰式、
JARL理事会報告、関西地方本部報告 [午後] ○技
術講演会 ※演題未定 ○お楽しみ抽選会 ○別室
でジャンク市、CQオーム出店、アイコムメーカー展
示も開催 ○JARL入会、会費の支払いも受付。催事
限定の入会金(1,000円)の免除が受けられますので、
この機会に入会をお勧めします。継続会費、QSL転送
手数料等も受付

その他 QSLの転送 ※QSLカードを持参ください

奈良県

製作技術講習会

日時 10月27日(日) 10:00～17:00 ※全員が完成
した時点で終了

場所 南コミュニティセンターせせらぎ 生駒市小瀬町
18 ☎0743-77-0001 近鉄生駒線南生駒下車徒歩5分

製作内容 ○低電力デジタルパワー計 ※CYTECの基
板を使って青色8桁表示の30dBm付近を表示。ATT
を使えば10～50Wに使える。ケースやSWなどは付
属しません ○パーツ代実費: 4,000円程度 ○持参
品: 20～40Wのハンダごて、0.6～0.8mm糸ハンダ、
ハンダごて台、小型プラスドライバー・ニッパー、ラ
ジオペンチ、拡大鏡、昼食、飲み物など

申込み方法 10月10日(木)までに、メールもしくは往
復はがきで

問合せ・申込先 〒630-0133 奈良県生駒市あすか野南
2-7-7 長谷川 駿(タケシ・JA3GJE) [tel/fax]
0743-78-2273 Eメール: ja3gje@gmail.com

その他 奈良県支部会員外でも参加できます ○製作品
の写真や案内図などの詳細は支部HPでご覧ください
(<http://www.jarl.com/nara/>)

「青少年のための科学の祭典2019」

奈良大会にブース出展

地域への社会貢献と青少年育成活動の取り組みとし
て、科学を愛する青少年の育成を目指し18年連続で様々
な趣向を凝らして「青少年のための科学の祭典」にブ
ース出展をします

日時 11月17日(日) 10:00～16:00

場所 奈良女子大学 奈良市北魚屋東町

内容 参加者との直接交流を通じて、多くの若い人たち

が「アマチュア無線」や科学に興味を持ち、不思議さと夢、充実感をもってもらう機会とします。毎年大人気の「電子部品で虫づくり」をメインに、不思議な電波実験等、多彩な内容を予定しています。入場無料ですので、ぜひ、お子様やお孫様、青少年のお知り合いの方を誘って、出展ブースにおいでください。

※過去のブース出展の様様や詳細は、支部HP <http://www.jarl.com/nara/>

Report 「アンテナ製作講習会」終わる



7月28日(日)に、アンテナ製作講習会を橿原市の「リサイクル館かしはら」で開催しました。

講習内容は、100W対応、バラ付きの、50MHz V型ダイポールアンテナの製作で、動作確認や調整までおこなわれました。

設計は講師のJA3FZT北口OMが、試行錯誤で製作された物で、再現性が高く、参加者全員無事完成されました。

大阪府

第25回オール大阪コンテスト

日時 11月3日(日) ○電信部門 06:00~11:30
○電話部門 12:30~18:00 ○デジタル部門 (RTTY/SSTV) 06:00~18:00

参加資格 ○大阪府内で運用するアマチュア無線局(大阪府内局) ○大阪府外の日本国内で運用するアマチュア無線局(大阪府外局) ○SWL局(府内・府外の区別なし)

使用周波数帯 ○JARL制定のコンテスト周波数帯、1200MHz帯・2400MHz帯のアマチュアバンド ※1200MHz帯・2400MHz帯の周波数帯は、総務省告示「アマチュアバンド使用区別」による ○SSTV・RTTYについては、免許された周波数帯とし周波数の制限はなし ※総務省告示「アマチュアバンド使用区別」による ○1.9MHz帯については、1.8MHz帯を使用せず、従来の1.9MHz帯を使用

呼出 [府内局]○電信「CQ OSKO TEST」 ○電話「CQ オール大阪コンテスト(こちらは府内局)」 ○デジタル「CQ OSKO TEST」 [府外局]○電話「CQ オール大阪コンテスト」 ○電信/デジタル「CQ OSK TEST」

交信の相手局 ○府内局:日本国内で運用する全てのアマチュア局 ○府外局:大阪府内で運用するアマチュア局 ※JARL局(JA3RL JA3YRL/3)の運用予定

コンテストナンバー ○府内局:RS(T/V)+大阪府内の市郡区ナンバー ※YL局,オペレーターが20歳未満の局は、大阪府の市郡区ナンバーの後に下記の記号をつける ・YL局,オペレーターが20歳未満の局:Y ○府外局:RS(T/V)+JARL制定の都府県・地域等のナンバー ※YL局,20歳未満の局の区別は府内局のみ ○JA3RL・JA3YRL:RS(T/V)+大阪府内の市郡区+Y

参加部門・種目・コードナンバー

種目	電話		電信		
	コードナンバー		コードナンバー		
	府内局	府外局	府内局	府外局	
シングルオペ	マルチバンド	FM-O	FM	CM-O	CM
	1.9MHz	—	—	C19-O	C19
	3.5MHz	F35-O	F35	C35-O	C35
	7MHz	F7-O	F7	C7-O	C7
	14MHz	F14-O	F14	C14-O	C14
	21MHz	F21-O	F21	C21-O	C21
	28MHz	F28-O	F28	C28-O	C28
	50MHz	F50-O	F50	C50-O	C50
	144MHz	F144-O	F144	C144-O	C144
	430MHz	F430-O	F430	C430-O	C430
	1200MHz	F1200-O	F1200	C1200-O	C1200
	2400MHz	F2400-O	F2400	C2400-O	C2400
	マルチバンド YL/YM	FY/ LM-O	—	CY/ LM-O	—
SWL	FSWL		CSWL		
マルチオペ	マルチバンド	FA-O	FA	CA-O	CA

デジタル部門	府内局	府外局
SSTV マルチバンド	SSTV-O	SSTV
RTTY マルチバンド	RTTY-O	RTTY

交信中の禁止事項 ○クロスバンド・クロスモードによる交信 ○レピータによる交信 ○コンテスト中同一部門での運用場所の変更 ○個人局の2波以上の同時電波の発射 ○マルチオペ局の同一バンド内での2波以上の電波の発射 ○マルチオペ局が同一部門での複数地点からの運用 ※電信部門と電話部門の運用地は、異なっても可 ※デジタル部門は、上記どちらか一方の運用地と同じでなくてはならない ○本規約中にある使用周波数帯からの逸脱

得点 ○アマチュア局:バンドごとに異なる局との交信:1点 ○SWL局:バンドごとに異なる府内局の受信:1点 ※府内局のYL,オペレーターが20歳未満の局との交信(受信):2点 ※JA3RL・JA3YRLとの交信(受信):2点 ○府内局×府内局=1点 府内局×府外局=1点 府外局×府外局=無効 注1)府内局のマルチオペマルチバンド参加局においてオペレーターがYL,20歳未満の場合も2点 注2)アマチュア局は、コンテストナンバーの交換が完全にされた交信を1点 ※同一バンドでの重複交信(同一バンドでの同一局との2回以上の交信)は、1交信を除き、モード(SSB・AM・FM)が異なっても得点としない 注3)SWLは、府内局のみの受信で送信局、受信局のコールサインならびに送信局のコンテストナンバーの完全な受信を1点 ※同一バンドでの重複受信(同一受信局)は、1受信を除き、モード(SSB・AM・FM)が異なっても得点としない

マルチブライヤー ○府内局:バンドごとに交信した異

なる都府県・地域(大阪府を除く)、大阪府内の市区郡数の和 ○府外局：バンドごとに交信した大阪府内の市区郡数の和 ○SWL：バンドごとに受信した大阪府内の市区郡数の和

得点の計算 ○マルチバンド：各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチブライヤーの和 ○シングルバンド：当該バンドで得た得点の和×当該バンドで得たマルチブライヤーの和

書類の提出 ○JARL制定のサマリーシート、ログシートを使用(同一形式可) ※YL、20歳未満の局は、性別、生年月日(OMのみ)を、マルチオペレーター・マルチバンドは、運用したオペレーターのコールサイン・氏名・無線従事者資格を、サマリーシートの意見欄に記載。全部記載できない場合は、別紙に記載し添付 ○書類は、電信部門・電話部門・デジタル部門の各部門に提出できる。デジタル部門は、RTTY/SSTV両部門に提出可能(合計4種目に提出可) ○重複交信を確認する資料(チェックリスト)を提出しなくてもよい ○入賞局については、次に掲げる資料などの提出を求めることがある ・チェックリスト ・ログデータファイル ○電子メールによる提出(Ver1, Ver2に対応)：JARL主催コンテストの電子ログに準じた形式で受付。集計のエラーを防ぐために、データは添付ファイルではなく、メールの本文のシートに貼り付ける。メールの件名(Subject)は、貴局のコールサイン+参加部門コード 例)JA3RL CM-O, JA3YRL FM など。8J1RL C14 (全角文字も可)

提出先 ○〒589-0022 大阪府大阪狭山市西山台5-2-19-203 中浴方 オール大阪コンテスト係 ○Eメール：allosaka-25@jr3yrl.net (整理の都合から毎回変えている)

提出締切 11月17日(日)当日消印有効 ※封筒表面に参加部門を記入 ※電子申請は11月17日24:00

表彰 ○各部門・各種目ごとに参加局数に応じて、第1位～5位に賞状 ※JARL会員に限る ○入賞局への賞状はHPからダウンロード(PDF)とし紙の賞状は発行しない

参加記念 参加者のうち、希望者にJARL大阪府支部作成の記念品を贈ります。サマリーシートの意見欄に「記念品希望」と朱書き、SASE(長形3号封筒120mm×235mm)に返信先を記入し120円切手を貼る)参加者のコールサインを封筒下部に記載して請求。電子ログでの提出の場合は、SASEのみ前記「提出先」に、コールサイン明記のうえ、郵送

失格事項など ○次の場合は、失格 ・同一バンド内で、重複する交信または受信局(モードが異なっても重複)がログシートに記載されている交信または受信局数の2%を越えており、かつその重複する交信、または受信局を得点として計上している場合 ・ログシートに記載されている交信、または受信局のコールサインなどについて審査の結果、明らかに虚偽の記載が認められる場合 ・この規約に定める事項に、違反した場合 ○コンテスト結果に対する異議申し立ての受け付けは、支部HP発表後30日以内。協議の結果失格となった局は、失格の日から3年間、大阪府支部主催のコンテストに参加しても入賞を認めない ○失格となった局は、コールサイン、失格の理由をHPなどに発表

支部登録クラブ対抗 大阪府支部登録クラブの構成員、そのクラブが開設する社団局(予め支部に登録された1局のみ)から申告された得点を登録クラブごとに集計し、参加クラブ数に応じて第1位～3位に賞状

結果発表 支部HPにて発表 <http://pws.sakura.ne.jp/jarlosaka/>

和歌山県

テクニカル講座

皆様のご参加をお待ちしています

日時 11月3日(日) 13:00～16:30

場所 東部コミュニティセンター 活動室(中) 和歌山県和歌山市寺内665 ☎073-475-0020

テーマ 「D-STARを活性化しよう」

問合せ連絡先 JF3NIM 田中将夫 jf3nim@jarl.com

兵庫県

令和2(2020)年オール兵庫コンテスト

開催日時(JST) 令和2(2020)年1月4日(土)09:00～21:00まで

参加資格(部門別) ○兵庫県内局：兵庫県内で運用するアマチュア無線局 ○兵庫県外局：兵庫県外(海外からの参加も含む)で運用するアマチュア無線局 ○SWL ※行事等の開催にともない、臨時かつ一時の目的のために運用するアマチュア局、国際宇宙基地に開設されたアマチュア局と通信をおこなうために臨時に開設するアマチュア局(8J, 8Nのプリフィックスで始まる局)は、エントリーされてもチェックログ

使用周波数帯 JARL主催コンテスト使用周波数帯、1.9MHz帯、1200MHz帯 ※1.9MHz帯は1.9075～1.9125MHz、1200MHz帯は「アマチュアバンド使用区分」による

参加部門(別表) 注1) 電信・電話部門は「電信および電話」または「電話のみ」の交信 注2) シングルオペ部門のゲストオペレーターによる運用は認めない。この場合は、マルチオペ部門にエントリー 注3) HFマルチバンド部門は、30MHz未満、VUのマルチバンド部門は、30MHz以上の使用周波数帯に限る 注4) QRP部門は空中線電力5W以下で、電信および電話を使用して交信。全バンド使用可 注5) ゲストオペレーター(補助行為を含む)として運用をした者は、自己のコールサインによる運用は認めない 注6) 運用者が複数の局は、交信ごとにログに運用者を記入 注7) 使用周波数帯の重ならない部門での2部門参加を認める 例) HFマルチバンドと144MHzシングルバンド、7MHzシングルバンドと21MHzシングルバンド等の2部門参加は可、HFマルチバンド部門とHF帯各シングルバンドの2部門参加は両部門ともに失格

呼出 [県内局] ○電信「CQ TEST」 ○電話「CQ オール兵庫コンテスト」 [県外局] ○電信「CQ HG TEST」 ○電話「CQ オール兵庫コンテスト」 ※呼出時に運用地点を入れるなどして県内局と県外局が区別できるように配慮

交信(SWLは受信)の相手局 ○県内局：全ての局 ○県外局：兵庫県内で運用する局に限る ○SWL：兵

(別表) 参加部門

部門		コードナンバー	
		兵庫県内局	兵庫県外局
電 信	マルチバンド	I-CS-ALL	
	HF マルチバンド		O-CS-HF
	VU マルチバンド	I-CS-VU	O-CS-VU
	1.9MHz	I-CS-1.9	O-CS-1.9
	3.5MHz	I-CS-3.5	O-CS-3.5
	7MHz	I-CS-7	O-CS-7
	14MHz	I-CS-14	O-CS-14
	21MHz	I-CS-21	O-CS-21
	28MHz	I-CS-28	O-CS-28
	50MHz	I-CS-50	O-CS-50
	144MHz	I-CS-144	O-CS-144
	430MHz	I-CS-430	O-CS-430
	1200MHz	I-CS-1200	O-CS-1200
	マルチオペマルチバンド	I-CM-ALL	O-CM-ALL
電 信 ・ 電 話	マルチバンド	I-MS-ALL	
	HF マルチバンド		O-MS-HF
	VU マルチバンド	I-MS-VU	O-MS-VU
	3.5MHz	I-MS-3.5	O-MS-3.5
	7MHz	I-MS-7	O-MS-7
	14MHz	I-MS-14	O-MS-14
	21MHz	I-MS-21	O-MS-21
	28MHz	I-MS-28	O-MS-28
	50MHz	I-MS-50	O-MS-50
	144MHz	I-MS-144	O-MS-144
	430MHz	I-MS-430	O-MS-430
	1200MHz	I-MS-1200	O-MS-1200
	QRP 部門	I-MS-QRP	O-MS-QRP
	マルチオペマルチバンド	I-MM-ALL	O-MM-ALL
SWL	マルチバンド	I-MS-SWL	O-MS-SWL

兵庫県内で運用する局に限る

コンテストナンバー ○県内局：RS (T) + JARL 制定の市郡区ナンバー ○県外局：RS (T) + JARL 制定の都府県・地域等のナンバー ○海外局：RS (T) のみ

禁止事項 ○クロスバンドによる交信 ○レピータを用いての交信 ○マルチオペ局の同一バンド内での2波以上の電波の同時発射 ○シングルオペ局の2波以上の電波の同時発射 ○同一部門での運用場所の変更 ○使用周波数帯からの逸脱

得点 コンテストナンバーの交換が完全にされた交信 (SWL は受信) を1点 ※同一バンドにおける重複交信は、1交信を除き、電波型式が異なっても得点としない ※県外局 (海外局を含む) 同士の交信は無効

マルチブライザー ○県内局：各バンドで交信した異なる都府県・地域等の数、兵庫県内の異なる市郡区の数之和 (海外局との交信はマルチとしない) ○県外局：各バンドで交信した異なる兵庫県内の市郡区の数之和 ○SWL：各バンドで受信した異なる兵庫県内の市郡区の数之和 (注意：区は神戸市に限り有効とし、神戸市 (2701) だけのカウントは無効)

総得点 ○マルチバンド：各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチブライザーの和 ○シングルバンド：そのバンドで得た得点の和×そのバンドで得たマルチブライザーの和

書類の提出 ○電子ログ (Eメール) による提出を推奨 ○電子ログは所定の様式 (JARL Web を参照) で作成したデータターをテキストメールとして提出先アドレス

に送信。自作ログについてはJARL Webにおける「電子ログ提出方法 (解説)」を守ること。やむを得ず紙ログで提出する場合は、現JARL制定の「サマリーシート、ログシート (A4サイズ)」、もしくはこれと同書式のものを使用 ○紙ログ：ログシートは、各バンドごとに別々のログシートに記載 ○マルチブライザー欄には、交信した都府県・市郡区・地域等のナンバーを記載 ○マルチオペ局は、運用者のコールサインまたは氏名を電子ログ (サマリーシートの部分) またはサマリーシートに記入

提出先 ○電子ログ：hgtest@khn.co.jp (電子ログの問合せはhyogo@jarl.com) ○2部門参加の方は、2部門目のサマリーシートの提出者コールサインに-2を付加 ※メールの件名にも提出者コールサインに-2を付加、-2以外は無効 (例) JN3TMW-2, JN3TMW-2/3 ○紙ログ：〒651-1304 神戸市北区京地2丁目23-2 出田方 JARL兵庫県支部 オール兵庫コンテスト委員会 宛

提出締切日 令和2 (2020) 年1月18日 (土) (消印有効)

賞 書類提出局には、各部門の参加局数に応じて次の順位の局に賞状 ○9局以下：第1位 ○10局以上：第3位まで ○奨励賞：兵庫県西、北部でコンテスト委員会が指定する市郡より運用し、10QSO以上をした局から3局に粗品 ※赤穂郡、佐用郡、多可郡、揖保郡、美方郡、養父市、朝来市、宍粟市、加東市が該当

失格事項等 次の事項は失格 ①同一バンドにおいて、重複する交信 (受信・マルチ) 局数がログシートに記載されている交信 (受信・マルチ) 局数の2%を越えており、かつ、その重複する交信 (受信・マルチ) 局を得点 (マルチ) としている場合 ②ログシートに記載されている交信 (受信) 局のコールサイン等について審査の結果、明らかに虚偽の記載と認められた場合 ③運用した場所 (特に住所と運用地が異なる場合) が明確に記載されていない場合 ④この規約に定める事項、電波法、その他の法令に違反した場合 ⑤コンテスト委員会より必要な書類の提出を求められ、これを理由なく拒否したとき ⑥JARL兵庫県支部オール兵庫コンテスト委員会失格と認めた場合 ○支部HPで発表したコンテスト結果に対して2週間以内に異議の申立てを受け、裁定の結果失格となった局、前記②に該当する局は失格の日から3年間は兵庫県支部主催のコンテストに参加しても入賞を認めない ○失格となった局は、コールサイン、失格の理由を支部HPに発表 ○重大な違反と認めるときは相当期間遡って入賞を取消すことがある

支部登録クラブ対抗 兵庫県内で運用されたJARL兵庫県支部登録クラブの構成員、そのクラブが開設する社団局から申告された得点をクラブごとに集計のうえ、順位を決定

受付状況・結果発表 令和2 (2020) 年1月下旬にログを提出した局名、令和2 (2020) 年2月中旬頃に結果の発表を支部HPでおこなう ※結果発表を郵送で希望する方は返信用切手を貼った返信用封筒を同封

その他 ○サマリーシートに記入されているコメントは、HP等で公表することがある ○提出された書類はHP、イベント会場等で提出者のコールサイン等を伏せて公開することがある ○コンテストにおいて交

信した際のQSLカードの交換は、過去に同一バンド・モードですでに交信し、QSLカードの交換がされている場合など必要なもの以外は発行を控えるなどQSLカード転送作業効率化へのご協力をお願いします

変更点 ○電子ログによる書類提出が浸透してきたため、発展的にエコポイント制度を廃止・紙ログの送付先変更(2019年より)。電子ログを推奨 ○マルチオペリスト提出を義務化 ○規約の改定がある時は支部のHP(www.jarl.com/hyogo/)に掲載

4エリア

中国地方

地方本部

令和元年度JARL中国地方ハムの集い

どなたも参加費無料、アマチュア無線に興味ある方々の参加大歓迎

日時 10月20日(日)10:00~17:00(JST)
場所 津山鶴山(かくごん)ホテル 2階大会議室
〒708-0832 岡山県津山市東新町114-1 ☎0868-25-2121
内容(予定) [午前]ご挨拶等, 防災に関する講演主体 [午後]○JH1CBX:Masaco コンサート ○津山祭観賞(大神輿(おおみこし), だんじり運行) ○無線技術に関する講演主体 ○会場内外に様々な出店ブースあり
問合せ先 ○Eメール jo4iat@jarl.com ☎090-9871-7977 有國(ありくに)

山口県

柳井祭り協賛JA4RL/4運用

「白壁の町, 心のふれあい」をテーマに開催される柳井祭りに協賛して, JA4RL/4の公開運用を次の要領で実施します

場所 柳井市文化福祉会館, 周辺
日時 11月23日(土/祝)9:00~15:30まで(公開運用)
運用周波数 3.5MHz~144MHz コンディションにより運用
フォックスハンティング ○受付10:00~10:30 ○スタート11:00~ ○周波数:145MHz帯 電波型式:F2Aを使用
展示品 レトロ無線機の展示等 ※運用サービスは11月16日~22日迄, 3.5MHz~144MHz, 柳井市周辺で運用
連絡先 柳井市余田2371-1 河村茂雄 JA4CNE

広島県

上級ハム国家試験対策教室

上級(第一級・第二級)アマチュア無線技士の国家試験を受験される方々を対象とした受験対策教室を開催します。今回は内容拡充のため, 2日間に分けて実施します

日時 10月6日(日)9:00~17:00 10月27日(日)9:00~17:00
場所 広島市安佐南区民文化センター 中会議室 広島

市安佐南区中筋一丁目22-17 アストラライン中筋駅西口を出て徒歩4分

定員 20名程度

参加費 無料

内容 1日目:計算問題, 2日目:無線工学と法規 ※いずれも過去問を中心に, 要点をまとめて解説

講師 JA4BOF 澁谷紘 第一級アマチュア無線技士, 第一級陸上無線技術士, 電気通信主任技術者(第1種伝送, 線路), JARD養成課程講習会講師

申込先 ○JA4BOF 澁谷紘 [Eメール]ja4bof@jarl.com ☎090-6416-7690 ○コールサイン, お名前, 連絡先を9月末までにお知らせください ※締切後でも空席があれば受講可能。お気軽に問合せください

その他 ○昼食は各自用意 ※会場建物内のレストランも利用可能 ○従事者免許取得のためには, 各自で国家試験を受験し合格していただく必要があります

2019広島ハムの集いin呉

日時 11月24日(日)10:00~16:00
場所 呉ポートピアパーク管理棟別館2階 〒737-0875 呉市天応大浜3丁目2-3 呉ポートピアパークHP <http://www.kurepo.com/>
内容 ○来賓挨拶 ○広島WASコンテスト表彰式 ○各種講演等(調整中) ○メーカー展示 ○グループ展示 ○ジャンク市 ○おたのしみ抽選会 その他
問合せ JR4CQW 小西和男 jr4cq@jarl.com
最新情報は支部HP参照 <http://www.jarl.com/hiroshima/index.html>

5エリア

四国地方

香川県

2019香川県支部ARDF競技大会

日時 11月10日(日)9:00より受付
場所 香川県東かがわ市近郊予定 ※後日参加申込者へ資料送付
参加資格 JARL会員・非会員を問いません
参加費 大人2,000円, 19歳未満1,000円 ※傷害保険費を含む
競技方法 JARL制定(平成29年4月1日施行)のARDF競技実施法による
周波数 145MHz帯(当日指定) 電波型式 A2A
参加部門 ○W12/W15/W19/W21/W35/W50/W60 ○M12/M15/M19/M21/M40/M50/M60/M70の各クラス
申込要領 氏名, コールサイン, 生年月日, 郵便番号, 住所, 電話番号, 参加クラス, 当日の弁当の要・不要を記入した申込書(JARL制定書式推奨)とSASE(自分の宛名を記入した封筒に84円切手を貼った返信用封筒)に, 弁当が必要な方は弁当代金500円を追加して小為替を同封し下記まで申込み ○ゆうちょ銀行から「ゆうちょ銀行 通常預金 記号16340 番号9034871」○その他の銀行などから「店名六三八 店番638 普通預金0903487」(ヒガ ヒサオ)へ送金も可能 ※申込書に参加費の送金方法等を記入 ○申込はEメールでも受付けますが, 参加者への案内もEメール ○中止以外は参加費の返金をおこないません